

令和2年

迎

春



### 更なる議会改革に向けて

国東市議会議長 野田 忠治

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市政発展のため多大なるご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、消費税増税等社会情勢が大きく変動する中で、地方自治体をとり巻く環境は依然として厳しく、経済情勢を含め、先行き不透明で混乱の1年でありました。また、昨年8月の佐賀県武雄市で甚大な被害をもたらした九洲北部豪雨、9月の台風15号、10月の台風19号による被害など自然災害の脅威にさらされ、防災の取り組みの大切さを一段と感じた1年でもありました。

一刻も早く被災された地域の皆様が元通りの生活に戻られますよう心から願っております。

また、元号が平成から令和へと変わり、平成の時代に幕を閉じました。この間、平成18年3月31日に4町合併により国東市が誕生し、平成28年には新庁舎落成移転、また、世界農業遺産、日本遺産の認定、文殊耶馬の国名勝指定など様々なことがありました。

議会におきましても平成25年の議会基本条例の制定をはじめとして、市民の皆様にとって身近な存在の議



### 「活力ある持続可能な国東市」の実現に向け全力で取り組みます

国東市長 三河 明史

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、「令和」初となる輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年2月の市長選挙におきましては、市民の皆様温かいご支援を賜り、3期目の当選を果たすことができました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重大さを痛感しているところでございます。3期目の市政におきましても、「活力ある持続可能な国東市」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。では、これまでの成果や今年の取り組みについて、いくつかご紹介いたします。

まず、市に「活力」を生むためには、何よりも産業の振興が重要です。これまで基幹産業である第一次産業に重点を置き、様々な施策を講じたところ、小ねぎや高糖度トマト、オリーブ、レタス、生食用殻付きカキ、ヒジキなど、新たな市の特産品が増えてまいりました。中でも、生食用殻付きカキ「くにさきOYSTER ER」は、首都圏を中心に販売網を広げるとともに、ふるさと納税の返礼品としても多くの方に愛顧いただくなど、高い評価を受けるようになりました。これからの「儲かる第一次産業」をめざし取り組んでまいります。

また、「六郷満山文化」「日本遺産」など観光資源の積極的な情報発信の効果により、六郷満山開山1300年目であった一昨年に続



き、昨年県内外から実に多くのお客様に国東市へお越しいただきました。今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され外国人観光客の増加が予想されることから、国東の文化や美しい自然、美味しい食材などをうまくPRするのメリットを最大限に活用し、インバウンドの取り込みなど交流人口の更なる拡大に取り組んでまいります。

さらに、本年4月に、大分県で2校目となる義務教育学校「志成学園」を武蔵町に開校いたします。志成学園では、学年の区切りを従来の6・3制から9年間の発達段階を踏まえた一貫性のあるカリキュラムを編成することにより、いわゆる「中1ギャップ」の解消や学力の向上、グローバルに活躍する人材の基礎づくりに力を注いでまいります。

市といたしましては、地道に産業を興して仕事をつくり、子育て環境や教育の充実に取り組みしていくことが、人口減少を食い止め、持続可能なまちづくりを実現するための近道であろうと考えております。

これからも、国東市が多くの人に愛され、多くの人が定住し、多くの人が訪れるまちになるよう、全力をあげて取り組んでまいりますので、皆様にはなお一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が国東市にとりましても、市民の皆様にとりましても、素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

会として意見を広く聞きながら、政策立案、提言できる議会を目指して改革に取り組んできたつもりですが、まだまだ取り組むべき事柄も多く、より一層市民の皆様信頼をいただける議会へと変革していかなければなりません。

過疎化・人口減少問題をはじめ様々な課題が山積しております。課題解決に向けて、議会の立場からもしっかりと取り組み、更に二元代表制の一翼を担うその責任を果たしていきます。

その為にも開かれた議会、活力ある議会をめざして議員一人ひとりが活躍できる「議員総活躍議会」の実現に向けて更なる議会改革に取り組んでまいります。市民の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、実り多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

き、昨年県内外から実に多くのお客様に国東市へお越しいただきました。今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され外国人観光客の増加が予想されることから、国東の文化や美しい自然、美味しい食材などをうまくPRするのメリットを最大限に活用し、インバウンドの取り込みなど交流人口の更なる拡大に取り組んでまいります。

さらに、本年4月に、大分県で2校目となる義務教育学校「志成学園」を武蔵町に開校いたします。志成学園では、学年の区切りを従来の6・3制から9年間の発達段階を踏まえた一貫性のあるカリキュラムを編成することにより、いわゆる「中1ギャップ」の解消や学力の向上、グローバルに活躍する人材の基礎づくりに力を注いでまいります。

市といたしましては、地道に産業を興して仕事をつくり、子育て環境や教育の充実に取り組みしていくことが、人口減少を食い止め、持続可能なまちづくりを実現するための近道であろうと考えております。

これからも、国東市が多くの人に愛され、多くの人が定住し、多くの人が訪れるまちになるよう、全力をあげて取り組んでまいりますので、皆様にはなお一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が国東市にとりましても、市民の皆様にとりましても、素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。